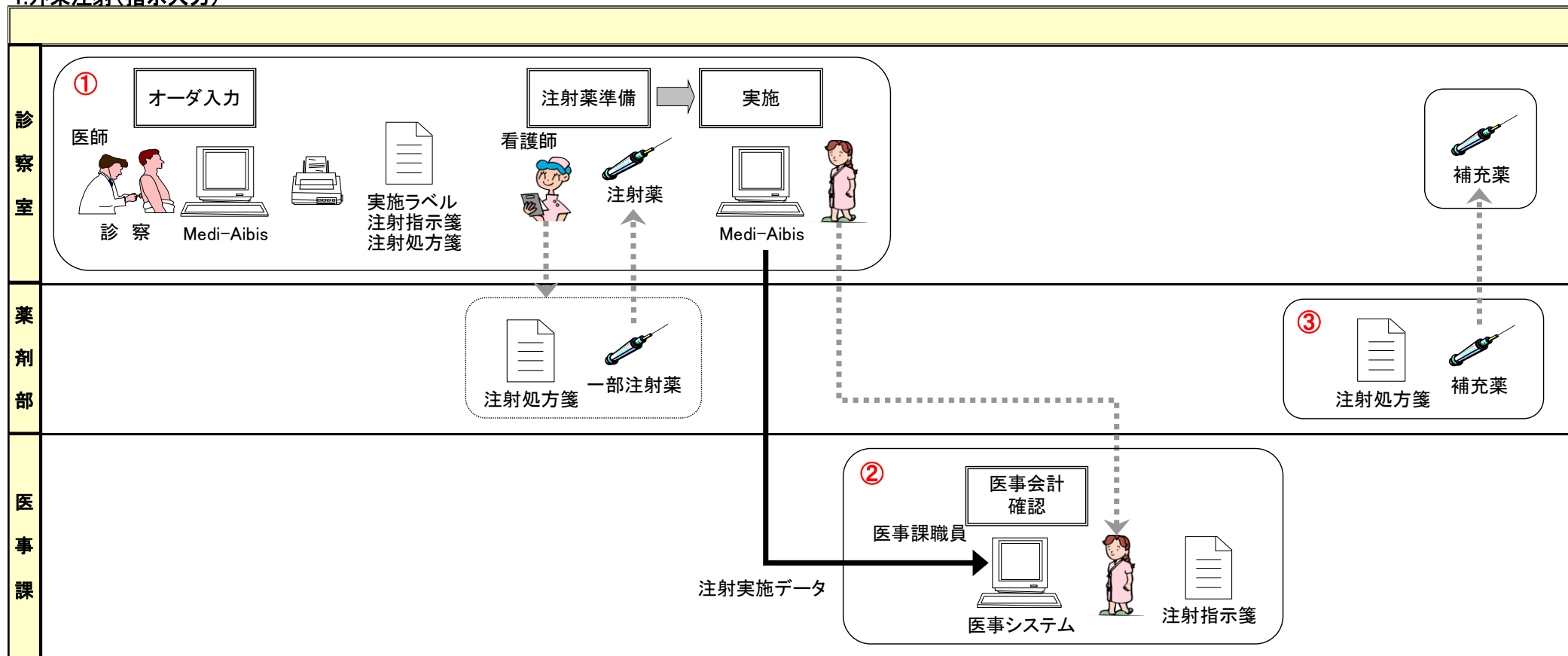


注射 運用フロー

注射業務運用フロー

1.外来注射(指示入力)

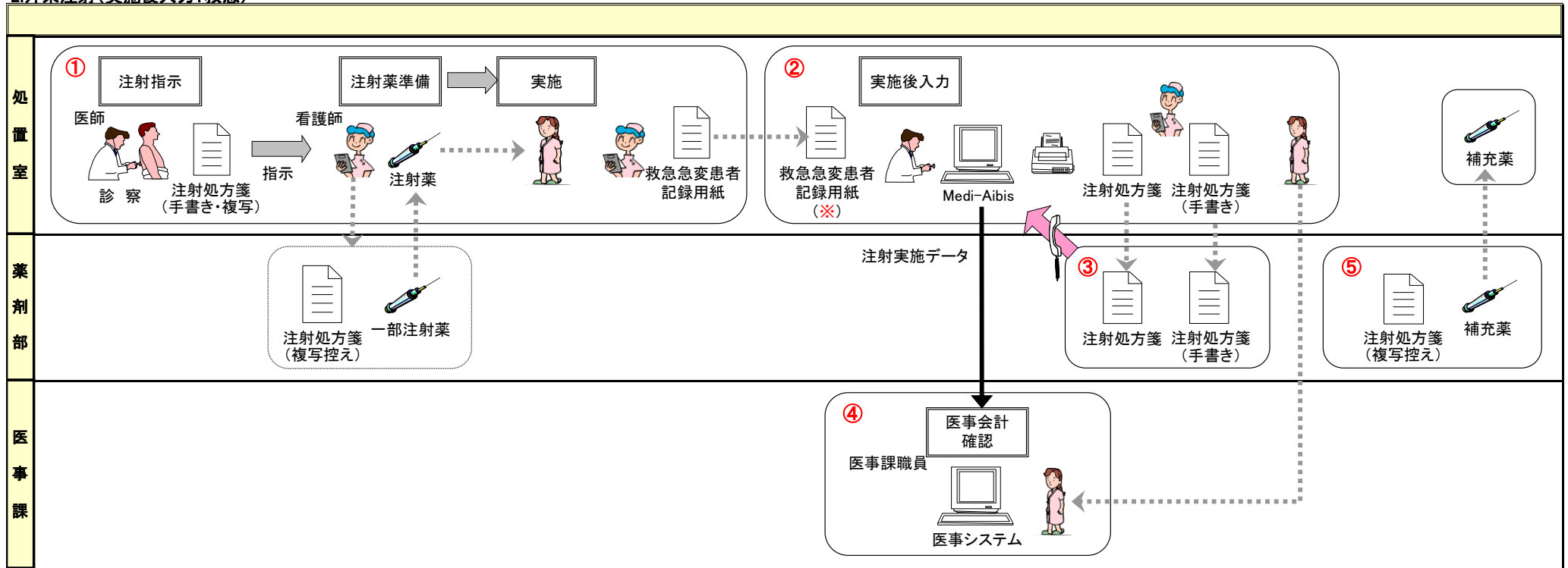


1.外来注射(指示入力)

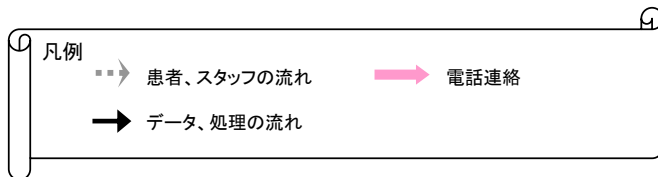
No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	診察室	医師	注射オーダー入力。	注射オーダー発行	
				実施ラベル、注射指示箋、	
				注射処方箋を出力	
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。		注射処方箋へは、持ち出した薬剤
			配置薬で不足があった場合は、		にマークを付け、補充すべき薬剤が
			注射処方箋を持って薬剤部へ		確認できるようにする。
			取りに行く。		
			注射薬を準備し、3点認証にて	患者ID、注射実施ラベル、	外来患者はリストバンドがないため、
			注射の実施を行う。	実施者情報を元に3点認証	注射指示箋などにある患者バーコード
				→コストとして医事へ送信	で行う。
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル		
			を受け取り、会計へ。		
		看護師	注射処方箋を薬剤部へ提出。		
2	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	
3	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、		
			補充作業を行う。		

注射業務運用フロー

2.外来注射(実施後入力:救急)



※「救急急変患者記録用紙」は、必要に応じてスキャンする。

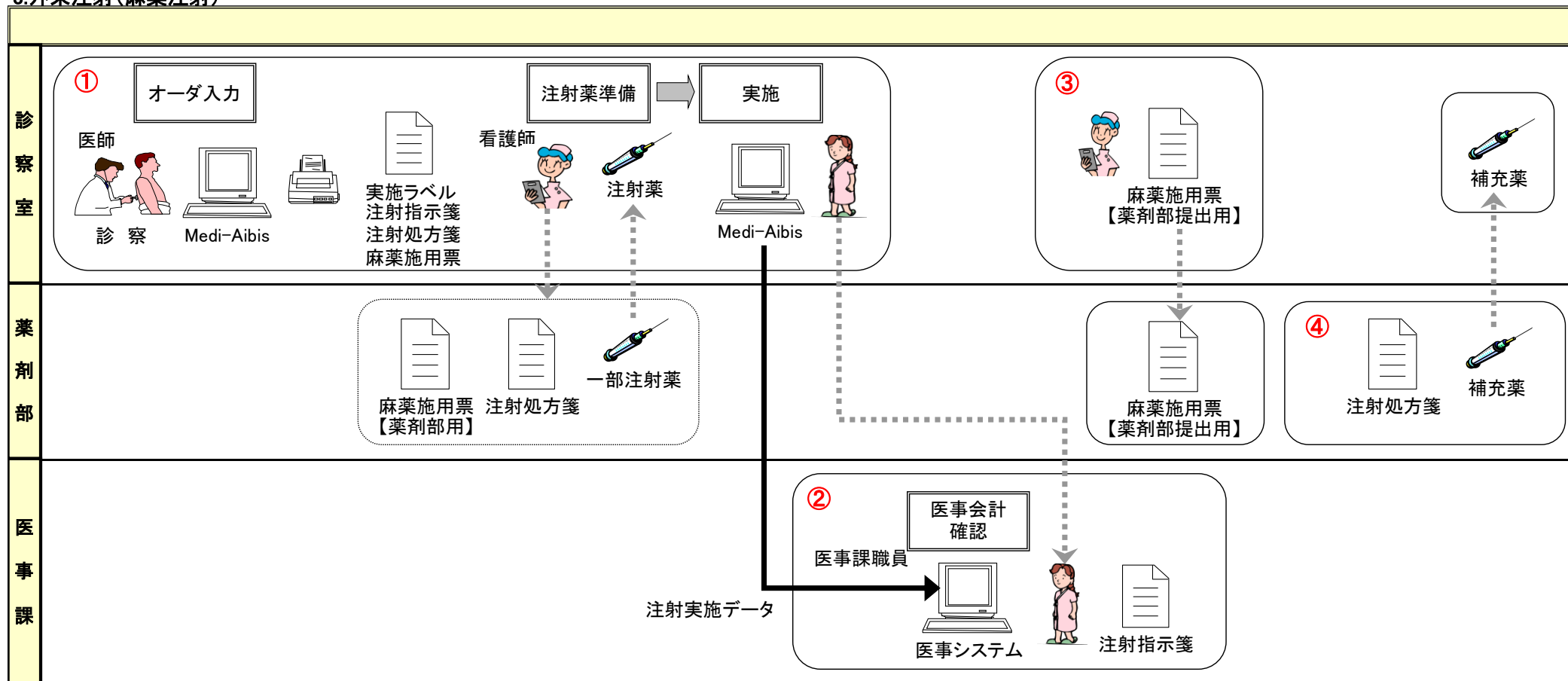


2.外来注射(実施後入力:救急)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	処置室	医師	手書きで注射処方箋(複写用紙)を記入し、看護師に指示を出す。		
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。		注射処方箋(複写控え)へは、持ち出した薬剤にマークを付け、補充すべき薬剤が確認できるようにする。
			配置薬で不足があった場合は、注射処方箋を持って薬剤部へ取りに行く。		
			注射処方箋(複写控え)は薬剤部に置いていく。		
			注射実施。		
			手書きで救急急変患者記録用紙を記入する。		
2	処置室	医師	事後オーダー入力。	注射オーダー発行 注射処方箋を出力 →コストとして医事へ送信	
			救急急変患者記録用紙を必要に応じてスキャン。		
		看護師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を薬剤部へ提出。		
		患者	会計ファイルを受け取り、会計へ。		
3	薬剤部	薬剤師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を照合し、未提出や内容の誤りがあった場合は医師に連絡する。		
			修正が必要で、ロックが掛かっている場合は解除する。		
	処置室	医師	オーダー入力に誤りがあった場合は修正し、医事課に連絡する。	注射オーダー修正 注射処方箋を再出力 →コストとして医事へ送信	
4	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	
5	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	注射処方箋(複写控え)を確認し、補充作業を行う。		薬剤部から持ち出しが無かった場合はオーダー出力の注射処方箋で確認しても良い。

注射業務運用フロー

3.外来注射(麻薬注射)

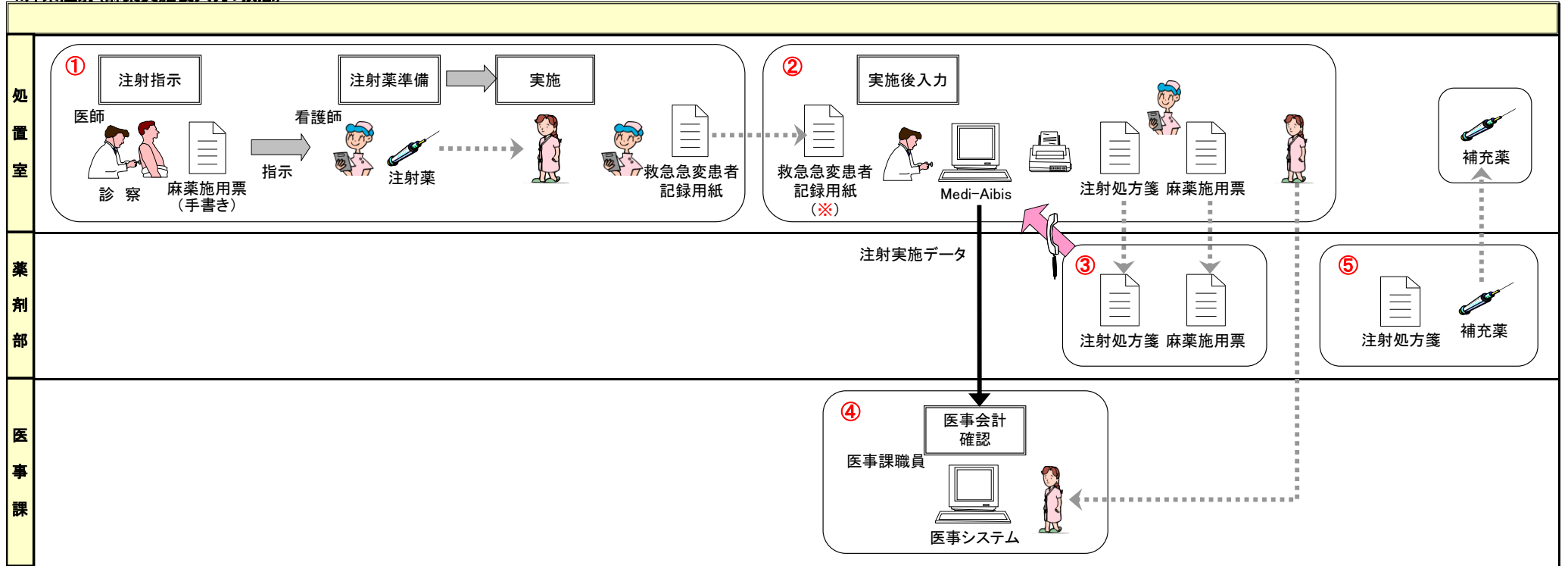


3.外来注射(麻薬注射)

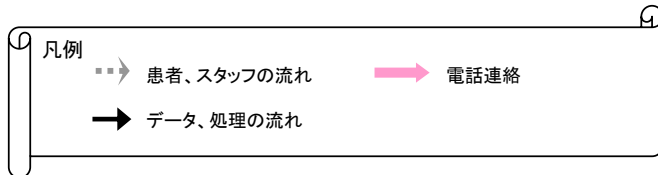
No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 診察室	医師	注射オーダー入力。	注射オーダー発行 実施ラベル、注射指示箋、 注射処方箋、麻薬施用票 を出力	
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。 配置薬で不足があった場合は、 注射処方箋と麻薬施用票を持って 薬剤部へ取りに行く。		注射処方箋へは、持ち出した薬剤 にマークを付け、補充すべき薬剤が 確認できるようにする。
			(配置薬で不足があった場合) 麻薬施用票をミシン線に沿って半分に 切り、片方を麻薬と共に持ち帰る。		【薬剤部用】を薬剤部に残し、 【薬剤部提出用】を持ち帰る。
			注射薬を準備し、3点認証にて 注射の実施を行う。	患者ID、実施ラベル、 実施者情報を元に3点認証 →コストとして医事へ送信	外来患者はリストバンドがないため、 注射指示箋などにある患者バーコード で行う。
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル を受け取り、会計へ。		
2	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	
3	診察室	看護師	麻薬施用票を空アンプルと共に 薬剤部へ提出。		薬剤部から持ち出しがあった場合、 【薬剤部用】は既に提出済みなので、 もう一方の【薬剤部提出用】のみを 提出することになる。
4	当日以降 薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、 補充作業を行う。 麻薬施用票を管理する。		

注射業務運用フロー

4.外来注射(麻薬実施後入力:救急)



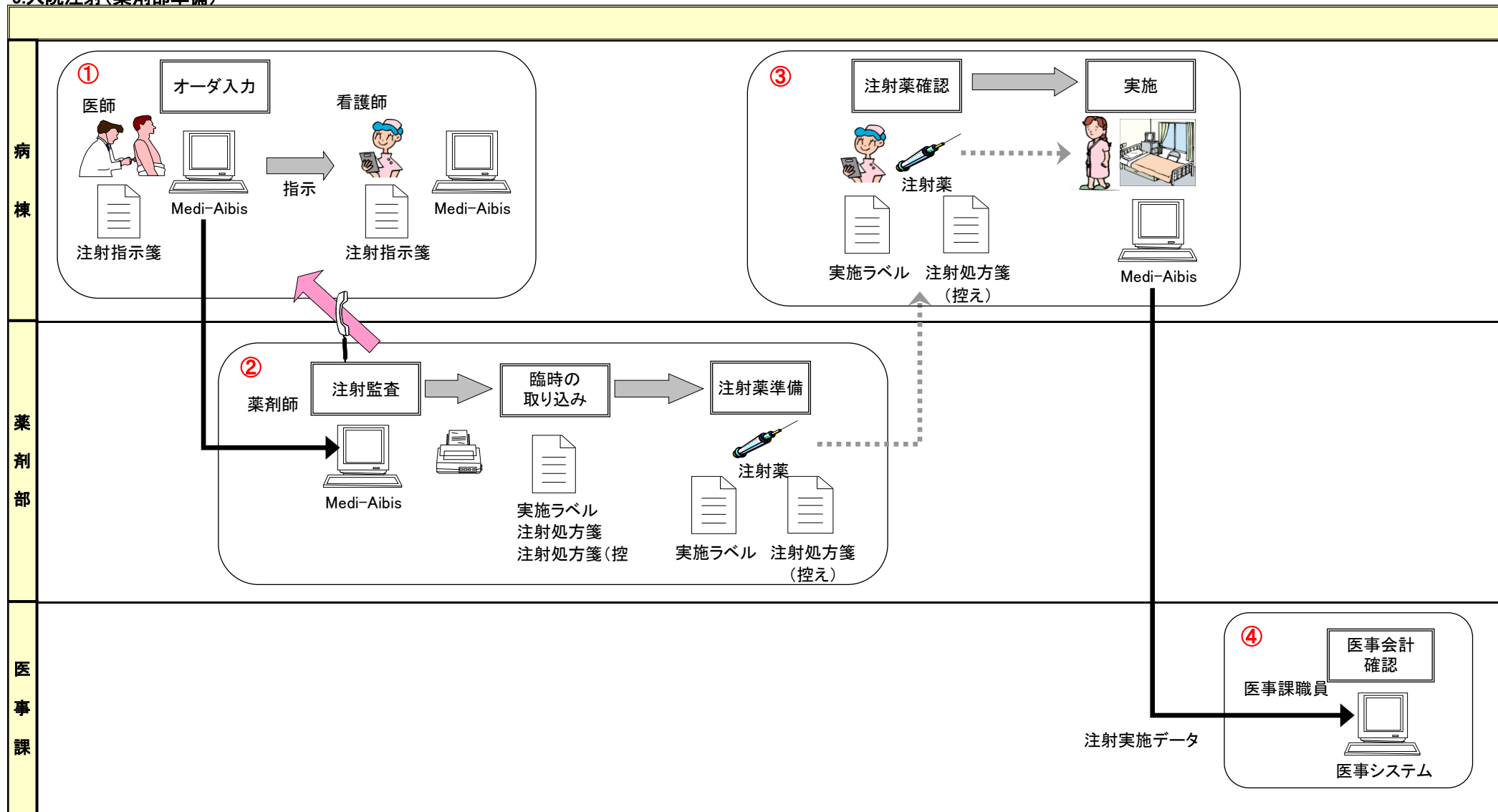
※「救急急変患者記録用紙」は、必要に応じてスキャンする。



4.外来注射(麻薬実施後入力:救急)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 処置室	医師	手書きで麻薬施用票を記入し、看護師に指示を出す。		
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。		
			注射実施。		
			手書きで救急急変患者記録用紙を記入する。		
2	処置室	医師	事後オーダ入力。	注射オーダ発行 注射処方箋、麻薬施用票 を出力 →コストとして医事へ送信	
			救急急変患者記録用紙を必要に応じてスキャン。		
		看護師	注射処方箋と麻薬施用票を空アンプルと共に薬剤部へ提出。		
		患者	会計ファイルを受け取り、会計へ。		
3	薬剤部	薬剤師	麻薬施用票と空アンプルを照合し、未提出や内容の誤りがあった場合は医師に連絡する。 修正が必要で、ロックが掛かっている場合は解除する。		
	処置室	医師	オーダ入力に誤りがあった場合は修正し、医事課に連絡する。	注射オーダ修正 注射処方箋、麻薬施用票 を再出力 →コストとして医事へ送信	
4	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	
5	当日以降 薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、補充作業を行う。		

注射業務運用フロー
5.入院注射(薬剤部準備)

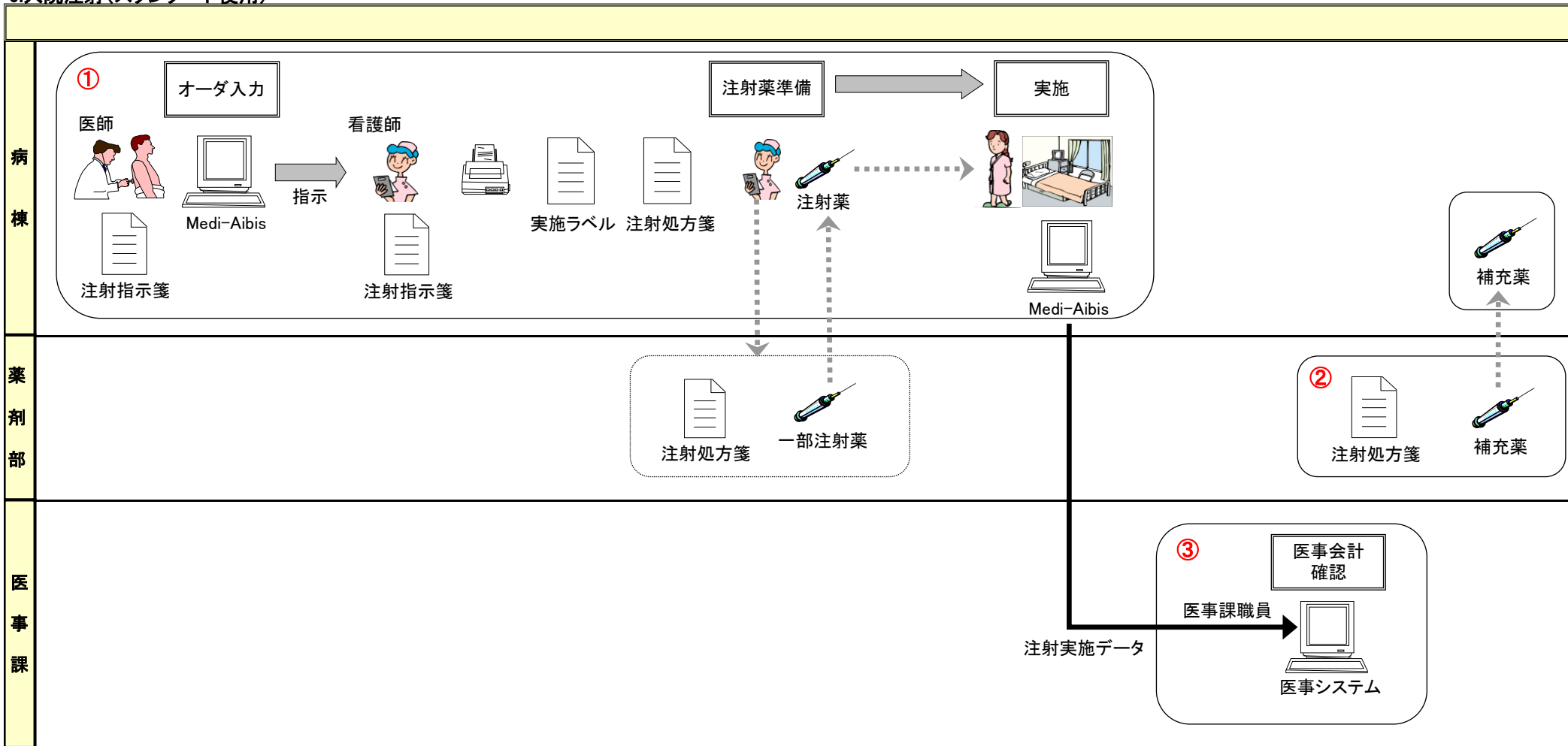


5.入院注射(薬剤部準備)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダー入力。	注射オーダー発行 注射指示箋を出力 →注射連携システムへ送信	
			看護師へ指示。		
2	薬剤部	薬剤師	オーダー内容確認。 →内容に問題がある場合は医師へ 連絡する。		医師が対応不可能な場合は、医師に 確認した上で薬剤師がオーダーの修正を 行う。
			注射連携システムで入院注射を 取り込む。	実施ラベル、注射処方箋、 注射処方箋(控え)を出力	
			注射薬準備。		準備した薬剤に実施ラベルと 注射処方箋(控え)を一緒にする。
3	病棟	看護師	注射薬確認及び実施準備。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル 及び注射処方箋(控え)で確認する。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、 ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	未実施及び中止分は薬剤部へ返却する。
4	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	

注射業務運用フロー

6.入院注射(スタンダード使用)



凡例

---> 患者、スタッフの流れ

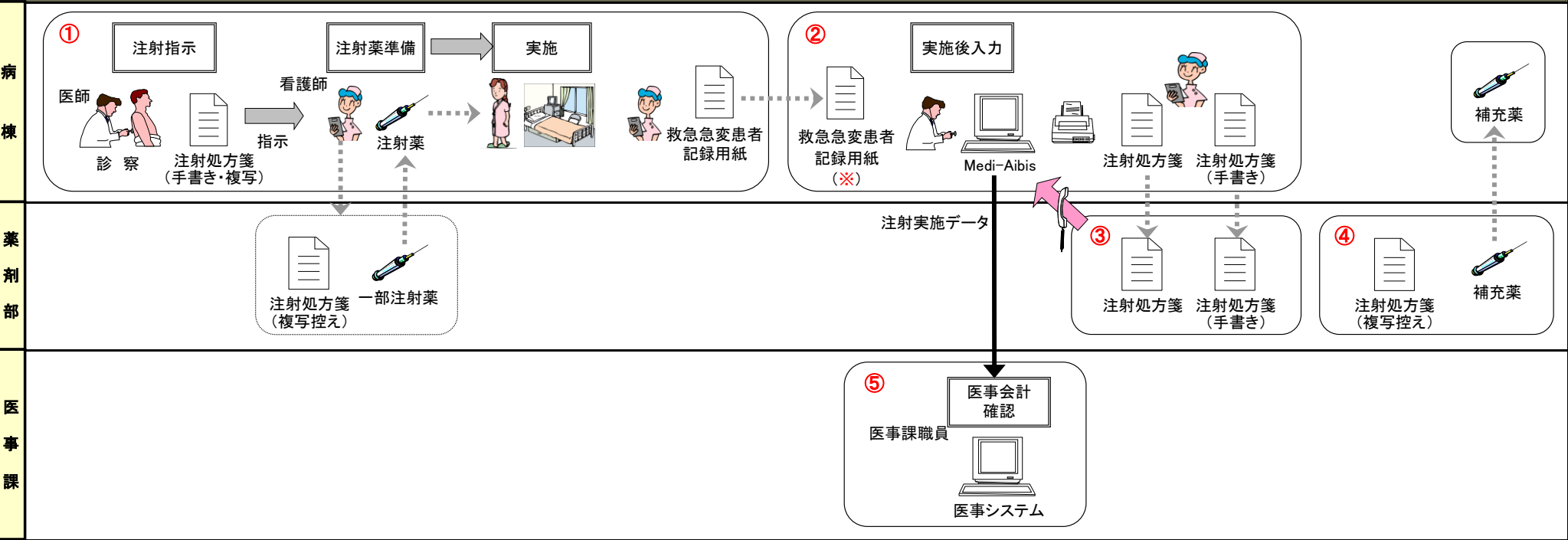
→ 電話連絡

→ データ、処理の流れ

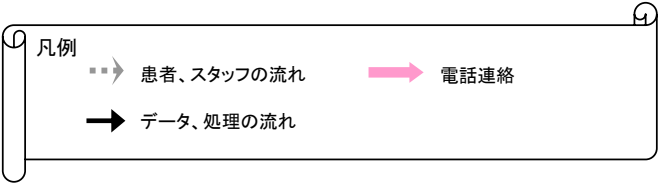
6.入院注射(スタンダード使用)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダー入力。	注射オーダー発行 注射指示箋を出力	
			看護師へ指示。		
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。 配置薬で不足があった場合は、 注射処方箋を持って薬剤部へ 取りに行く。	注射取り込み機能 →実施ラベル、注射処方箋 を出力	注射処方箋へは、持ち出した薬剤 にマークを付け、補充すべき薬剤が 確認できるようにする。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、 ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	
			注射処方箋を薬剤部へ提出。		
2	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	注射処方箋を確認し、 補充作業を行う。		
3	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	

注射業務運用フロー
7.入院注射(実施後入力:急変患者)



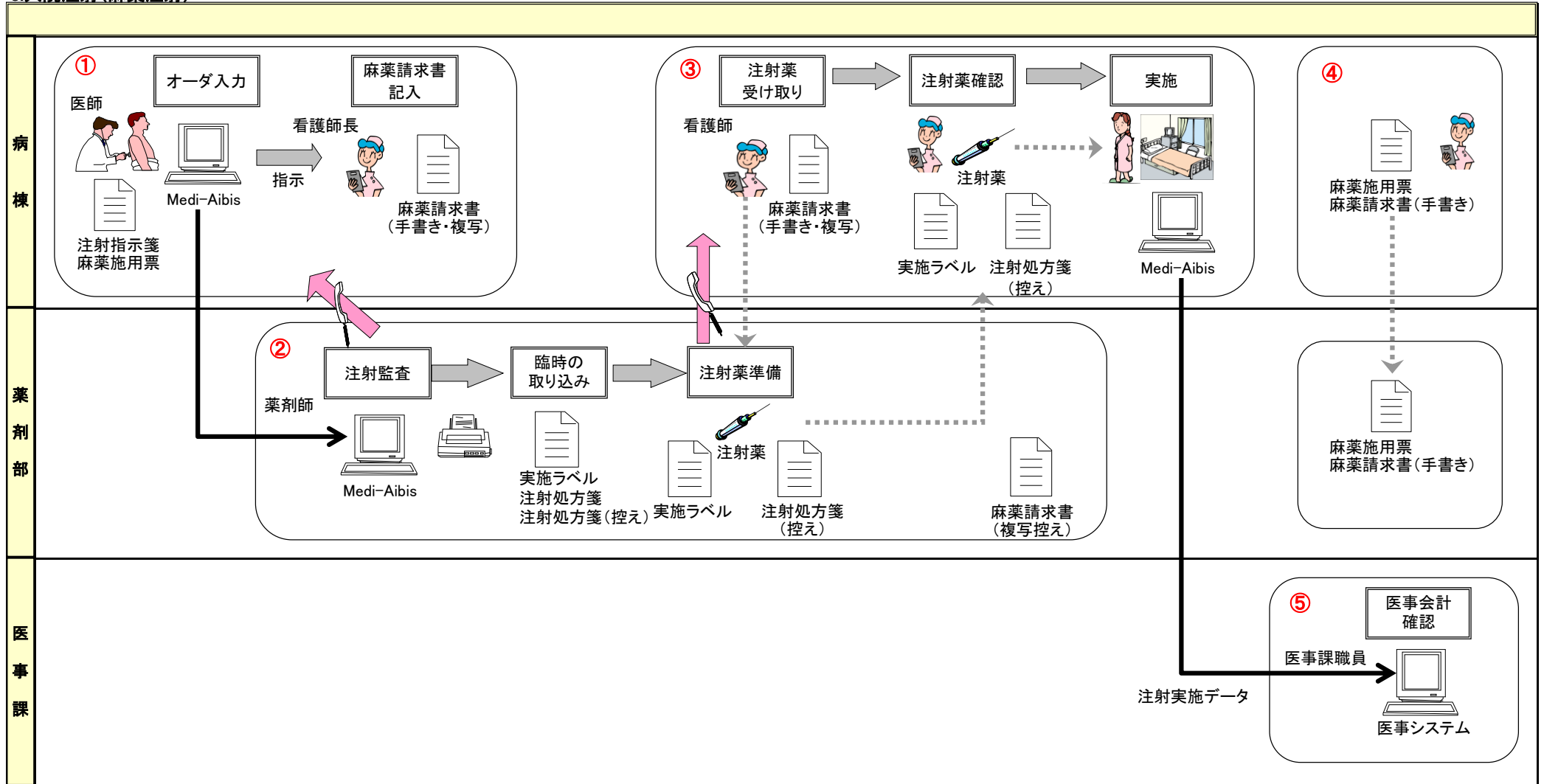
※「救急急変患者記録用紙」は、必要に応じてスキャンする。



7.入院注射(実施後入力:急変患者)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	病棟	医師	手書きで注射処方箋(複写用紙)を記入し、看護師に指示を出す。		
		看護師	配置薬にて注射薬の準備を行う。		注射処方箋(複写控え)へは、持ち出した薬剤にマークを付け、補充すべき薬剤が確認できるようにする。
			配置薬で不足があった場合は、注射処方箋を持って薬剤部へ取りに行く。		
			注射処方箋(複写控え)は薬剤部に置いていく。		
			注射実施。		
			手書きで救急急変患者記録用紙を記入する。		
2	当日以降				
	病棟	医師	事後オーダ入力。	注射オーダ発行 注射処方箋を出力 →コストとして医事へ送信	
			救急急変患者記録用紙を必要に応じてスキャン。		
		看護師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を薬剤部へ提出。		
3	薬剤部	薬剤師	注射処方箋と注射処方箋(手書き)を照合し、未提出や内容の誤りがあった場合は医師に連絡する。 修正が必要で、ロックが掛かっている場合は解除する。		
	処置室	医師	オーダ入力に誤りがあった場合は修正し、医事課に連絡する。	注射オーダ修正 注射処方箋を再出力 →コストとして医事へ送信	
4	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	注射処方箋(複写控え)を確認し、補充作業を行う。		薬剤部から持ち出しが無かった場合はオーダ出力の注射処方箋で確認しても良い。
5	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダからのコストを受信	

注射業務運用フロー
8.入院注射(麻薬注射)

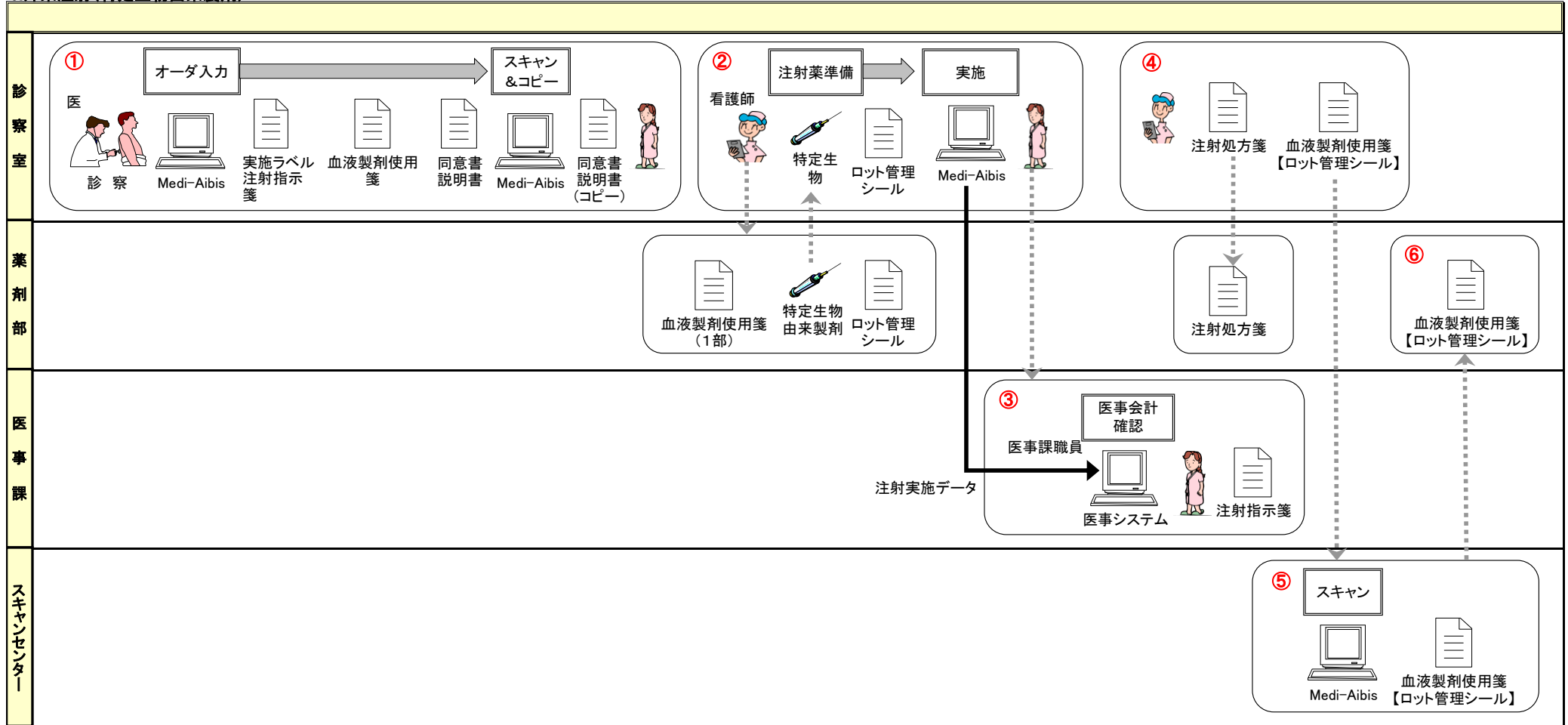


8.入院注射(麻薬注射)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダー入力。	注射オーダー発行	
				注射指示箋、麻薬施用票 を出力	
				→注射連携システムへ送信	
			看護師長へ指示。		
		看護師長	手書きで麻薬請求書(複写用紙)を 記入する。		
2	薬剤部	薬剤師	オーダー内容確認。		医師が対応不可能な場合は、医師に
			→内容に問題がある場合は医師へ 連絡する。		確認した上で薬剤師がオーダーの修正を 行う。
					麻薬の内容が変わった場合は再度、 医師の印鑑が必要。
			注射連携システムで入院注射を 取り込む。	実施ラベル、注射処方箋、 注射処方箋(控え)を出力	
			注射薬準備。		準備した薬剤に実施ラベルと
			準備が完了したことを病棟へ伝える。		注射処方箋(控え)を一緒にする。
3	病棟	看護師	麻薬請求書を持って薬剤部へ行き、 注射薬、実施ラベル、注射処方箋 (控え)を薬剤師より受け取る。		
			麻薬請求書(複写控え)を薬剤部に 提出する。		
			注射薬確認及び実施準備。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル 及び注射処方箋(控え)で確認する。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、 ユーザカードを元に3点認証	
				→コストとして医事へ送信	
4	病棟	看護師	麻薬施用票、麻薬請求書を空アンプル と共に薬剤部へ提出。		麻薬請求書(複写控え)は既に提出済み なので、複写用紙の1枚目を提出する。
5	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	

注射業務運用フロー

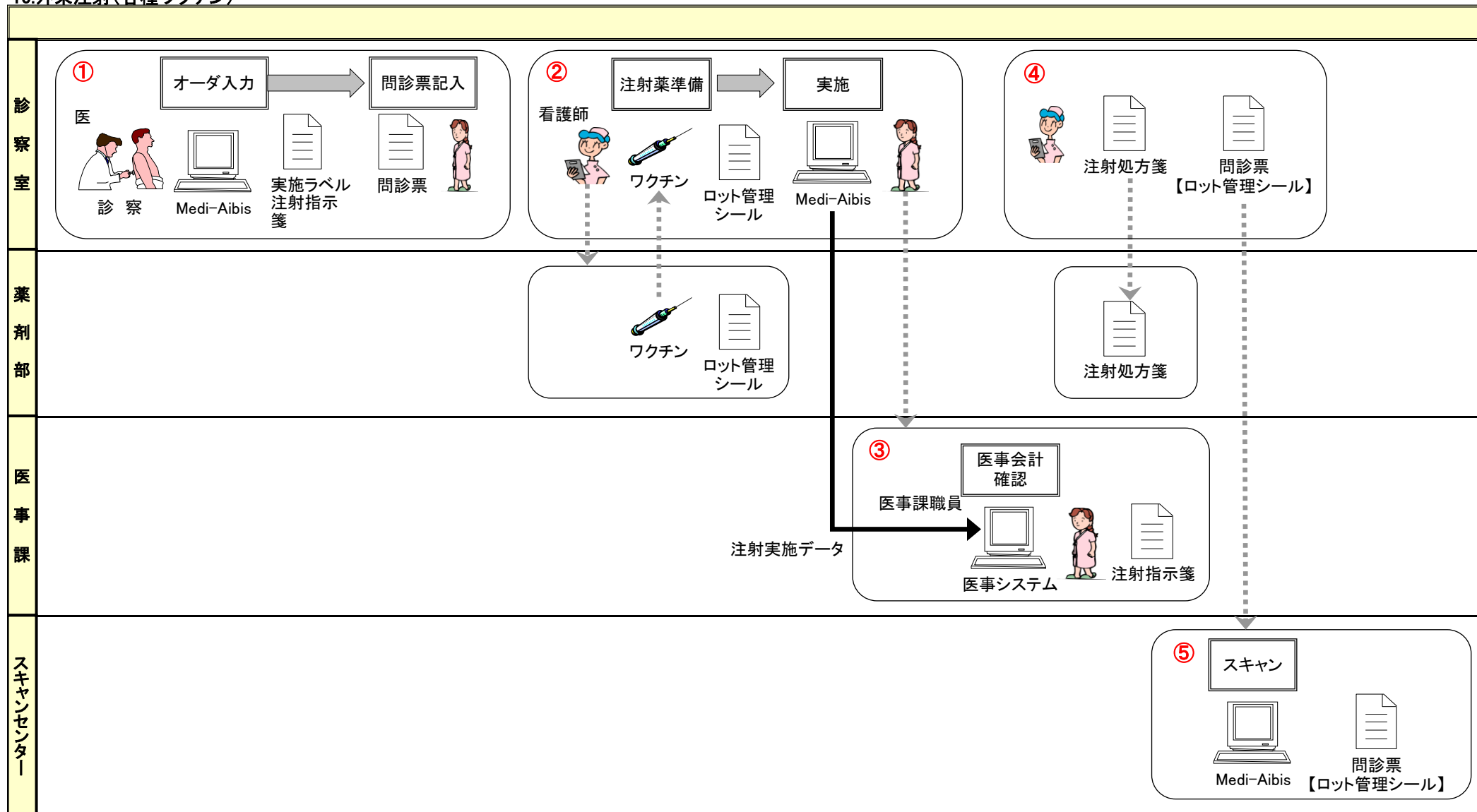
9. 外来注射(特定生物由来製剤)



9.外来注射(特定生物由来製剤)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	診察室	医師	注射オーダー入力。 ※特定生物由来製剤のみ入力。	注射オーダー発行 実施ラベル、注射指示箋、 注射処方箋を出力	
			文書作成オーダー入力。	血液製剤使用箋(2部)、 同意書・説明書を出力	
			同意書に患者のサインをもらったら、 その場でスキャンする。	スキャン機能による取り込み、 スキャンした帳票のコピー	
			スキャンと同時にコピーし、それを控え として説明書と共に患者に渡す。		
2	処置室	看護師	血液製剤使用箋を持って薬剤部へ 注射薬を取りに行く。 血液製剤使用箋は、2部ある内の1部 を薬剤部に置いていく。		
	薬剤部	薬剤師	特定生物由来製剤を払い出し、 ロット管理シールを看護師へ渡す。		
	処置室	看護師	特定生物由来製剤を準備し、3点認証 にて注射の実施を行う。	患者ID、実施ラベル、 実施者情報を元に3点認証 →コストとして医事へ送信	外来患者はリストバンドがないため 注射指示箋などにある患者バーコード で行う。
			血液製剤使用箋に必要事項を記入 し、ロット管理シールを貼付する。		
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル を受け取り、会計へ。		
3	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	
4	診察室	看護師	注射処方箋を薬剤部へ提出。 血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンセンターへ提出。		
5	当日以降				
	スキャンセンター	スキャン担当者	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンする。	スキャン機能による取り込み	
			スキャン済みの血液製剤使用箋(ロット 管理シール付)を薬剤部へ提出。		
6	当日以降				
	薬剤部	薬剤師	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) を原本管理する。		ロット管理シールを貼っていない方は 破棄する。

注射業務運用フロー
10. 外来注射(各種ワクチン)



凡例

→ 患者、スタッフの流れ

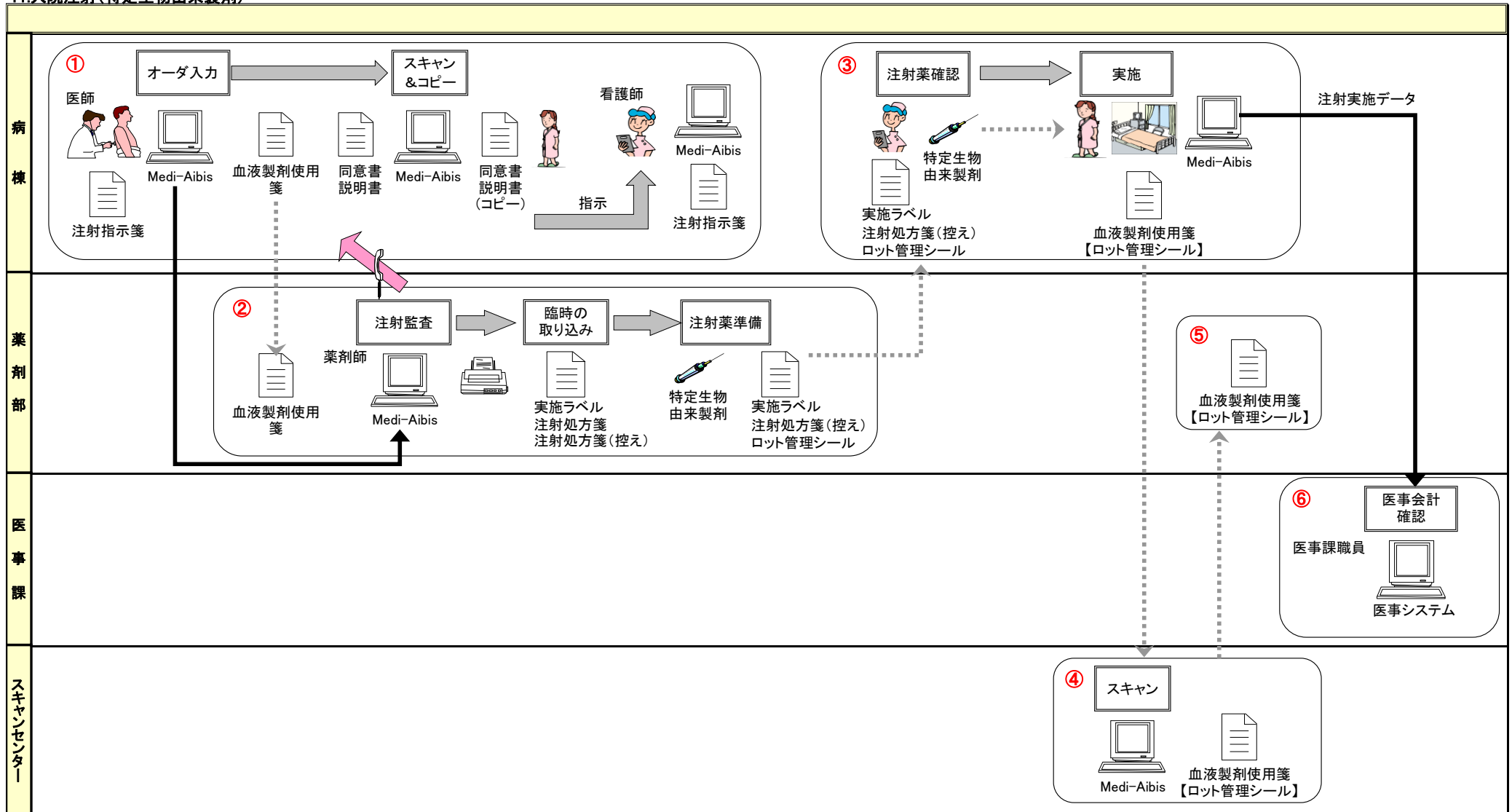
→ 電話連絡

→ データ、処理の流れ

10.外来注射(各種ワクチン)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日 診察室	医師	注射オーダー入力。 ※各種ワクチンのみ入力。	注射オーダー発行 実施ラベル、注射指示箋、 注射処方箋を出力	
			文書作成オーダー入力。	問診票を出力	
			患者に問診票を記入してもらう。		
2	処置室	看護師	注射処方箋を持って薬剤部へ注射薬 を取りに行く。		
	薬剤部	薬剤師	ワクチンを払い出し、ロット管理シール を看護師へ渡す。		
	処置室	看護師	ワクチンを準備し、3点認証にて注射 の実施を行う。	患者ID、実施ラベル、 実施者情報を元に3点認証 →コストとして医事へ送信	外来患者はリストバンドがないため 注射指示箋などにある患者バーコード で行う。
			問診票に必要事項を記入し、ロット管理 シールを貼付する。		
		患者	注射指示箋が入った会計ファイル を受け取り、会計へ。		
3	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	
4	診察室	看護師	注射処方箋を薬剤部へ提出。 問診票(ロット管理シール付)をスキャン センターへ提出。		
5	当日以降 スキャンセンター	スキャン担当者	問診票(ロット管理シール付)をスキャン する。	スキャン機能による取り込み	問診票(ロット管理シール付)の原本は ここで保管する。

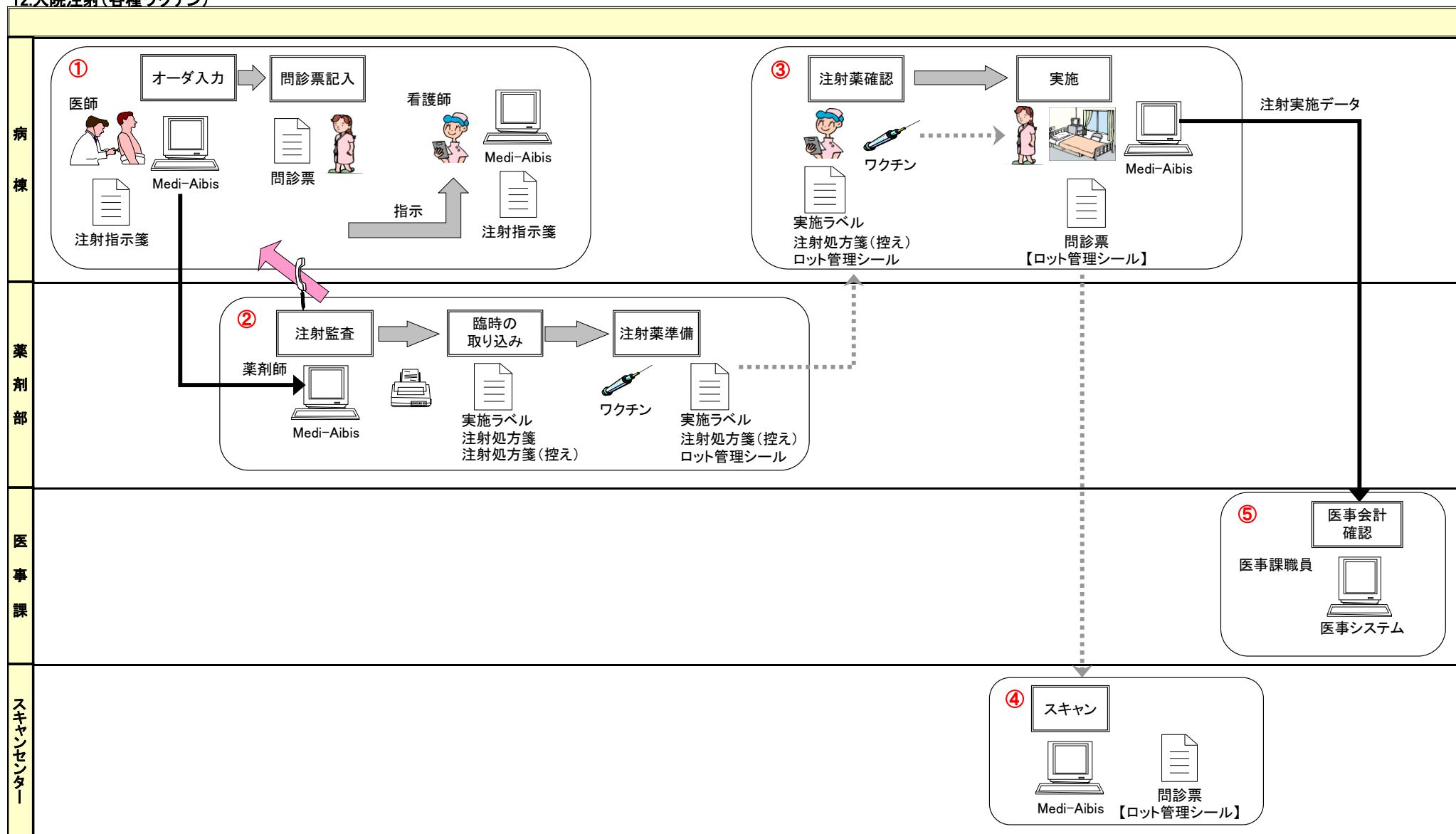
注射業務運用フロー
11.入院注射(特定生物由来製剤)



11.入院注射(特定生物由来製剤)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダー入力。 ※特定生物由来製剤のみ入力。	注射オーダー発行 注射指示箋を出力 →注射連携システムへ送信	
			文書作成オーダー入力。	血液製剤使用箋(2部)、 同意書・説明書を出力	
			同意書に患者のサインをもらったら、 その場でスキャンする。	スキャン機能による取り込み、 スキャンした帳票のコピー	
			スキャンと同時にコピーし、それを控え として説明書と共に患者に渡す。		
			看護師へ指示。		
		看護師	血液製剤使用箋の2部ある内の1部を 薬剤部へ提出。		
2	薬剤部	薬剤師	オーダー内容と血液製剤使用箋の内容 を確認。 →内容に問題がある場合は医師へ 連絡する。		医師が対応不可能な場合は、医師に 確認した上で薬剤師がオーダーの修正を 行う。
			注射連携システムで入院注射を 取り込む。	実施ラベル、注射処方箋、 注射処方箋(控え)を出力	
			注射薬準備。		準備した薬剤に実施ラベルと 注射処方箋(控え)を一緒にする。
3	病棟	看護師	注射薬確認及び実施準備。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル 及び注射処方箋(控え)で確認する。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、 ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	未実施及び中止分は薬剤部へ返却する。
			血液製剤使用箋に必要事項を記入 し、ロット管理シールを貼付する。		
			血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンセンターへ提出。		
4	当日以降 スキャンセンター	スキャン担当者	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) をスキャンする。	スキャン機能による取り込み	
			スキャン済みの血液製剤使用箋(ロット 管理シール付)を薬剤部へ提出。		
5	当日以降 薬剤部	薬剤師	血液製剤使用箋(ロット管理シール付) を原本管理する。		ロット管理シールを貼っていない方は 破棄する。
6	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	

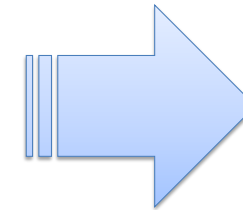
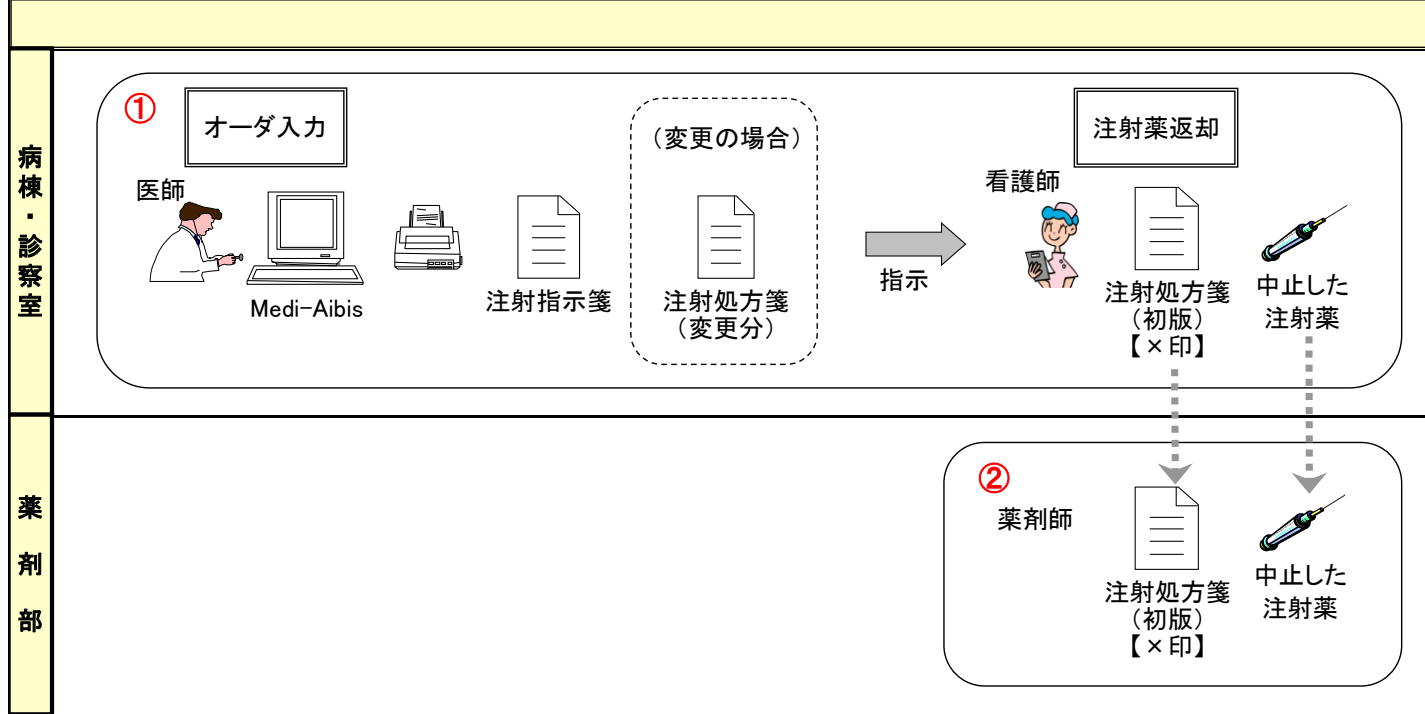
注射業務運用フロー
12.入院注射(各種ワクチン)



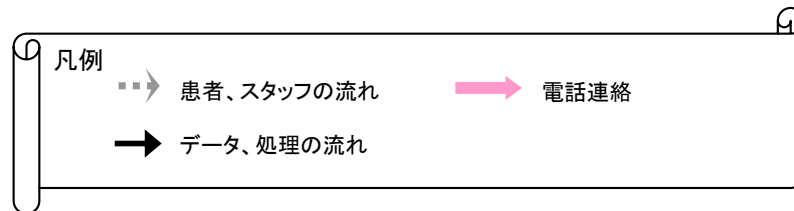
12.入院注射(各種ワクチン)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟	医師	注射オーダー入力。 ※各種ワクチンのみ入力。	注射オーダー発行 注射指示箋を出力 →注射連携システムへ送信	
			文書作成オーダー入力。	問診票を出力	
			患者に問診票を記入してもらう。		
			看護師へ指示。		
2	薬剤部	薬剤師	オーダー内容確認。 →内容に問題がある場合は医師へ 連絡する。		医師が対応不可能な場合は、医師に 確認した上で薬剤師がオーダーの修正を 行う。
			注射連携システムで入院注射を 取り込む。	実施ラベル、注射処方箋、 注射処方箋(控え)を出力	
			注射薬準備。		準備した薬剤に実施ラベルと 注射処方箋(控え)を一緒にする。
3	病棟	看護師	注射薬確認及び実施準備。		薬剤部より搬送した注射薬を実施ラベル 及び注射処方箋(控え)で確認する。
			注射実施。	リストバンド、実施ラベル、 ユーザカードを元に3点認証 →コストとして医事へ送信	未実施及び中止分は薬剤部へ返却する。
			問診票に必要事項を記入し、ロット管理 シールを貼付する。		
			問診票(ロット管理シール付)をスキャン センターへ提出。		
4	当日以降				
	スキャンセンター	スキャン担当者	問診票(ロット管理シール付)をスキャン する。	スキャン機能による取り込み	問診票(ロット管理シール付)の原本は ここで保管する。
5	医事課	医事課職員	会計情報確認。	オーダーからのコストを受信	

注射業務運用フロー XX中止・変更指示



各々の運用フローに沿って
業務を継続する



XX.中止・変更指示

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	病棟・診察室	医師	注射オーダー中止 or 変更入力。	注射オーダー発行 注射指示箋を出力 変更の場合は注射処方示箋 も出力	注射処方示箋には、変更や追加したRp のみが記載される。
			看護師へ指示。		
		看護師	最初のオーダー時に発行された方の 注射処方箋に記載された注射薬の中 から、中止・変更となったものに「×」 印を書き込み、注射薬と共に返却する。		配置薬を中止した場合は元の保管場所 に、薬剤部から持ち出した場合は薬剤部 に返却する。
2	薬剤部	薬剤師	返却された注射処方箋の「×」印と 注射薬を確認する。		



各々の運用フローに沿って
業務を継続する